

そこが聞きたい

ホームレスを支援する特定非営利活動法人(NPO法人)設立の認可申請を宮崎市に行いました。

ホームレスが生活保護の受給を求めて行政の窓口に行っても、住居がないことを理由に申請を拒否する対応が問題となっていて、住居がないことは保護要件に欠けるものではないというのが政府や厚労省の見解なので、適正な運用をお願いしたいと伺います。ホームレスが住居を確保しようとするとき、さまざまな問題が出てきています。連帯保証の問題もその一つ。ホームレスの保証人を探すのは難しい。そこで、法人格の団体をつくることによって、ホームレスが住まいを借りる際の保証(法人保証)をできないかと考えました。また、生活保護に関して支援を求めるにしても、ホームレスは現状をしっかりと説明できるかといえは、そうではありません。行政にホームレスの声を伝え、制度の充実を含めて要望していきたいと考えています。

具体的どのような活動をするのですか。

横山 当初は社会福祉士、牧師と団体をつくり、ホームレスに食事を提供したり、相談を受け付けたりしていました。現在、メンバーは十人です。今月中に宮崎市内に絞って実態調査を三回行うことになっています。一回目を十二日に実施しました。調査結果は四月中旬までにはまとまるので、結果をもとにホームレスが自立した生活を送れるような事業を展開していきたい

ホームレス支援

も、ホームレスは現状をしっかりと説明できるかといえは、そうではありません。行政にホームレスの声を伝え、制度の充実を含めて要望していきたいと考えています。

命と人権 保護優先を



聞き手 報道部長 杉尾 守

【プロフィール】2002年に県庁を退職し、よこやま司法行政事務所を開設。多重債務問題・成年後見業務などを手掛け、県司法

【アロフィル】2002年に県庁を退職し、よこやま司法行政事務所を開設。多重債務問題・成年後見業務などを手掛け、県司法

【アロフィル】2002年に県庁を退職し、よこやま司法行政事務所を開設。多重債務問題・成年後見業務などを手掛け、県司法

【アロフィル】2002年に県庁を退職し、よこやま司法行政事務所を開設。多重債務問題・成年後見業務などを手掛け、県司法

自立生活支援宮崎「ほほえみ」の
会代表

横山 茂さん

【アロフィル】2002年に県庁を退職し、よこやま司法行政事務所を開設。多重債務問題・成年後見業務などを手掛け、県司法